

共に育す



下川中学生3年 まちづくり学習発表会

12月21日下川町議会にて、ゼロカーボンをテーマに進めてきたまちづくり学習の発表を行いました。これまで、ゼロカーボンに関する講演、各テーマに関連する施設見学、ゲストと一緒にものづくりをするなど、情報収集をしながら、ゼロカーボンに向けた学校や家庭でできる具体的な行動にも移してきました。これまでゼロカーボンなんて聞いたこともなかったという生徒も、発表会では、自分にできることを続けていきたいと力強く発表していました。

A 「エネルギーの見える化」



Aグループ 「エネルギーの見える化」																							
調べて分かったこと																							
下川町での発電は主に水力発電とバイオマス発電																							
下川町で行われている再エネ熱出力合計 →4065kW																							
再エネ発電出力合計 →3165kW																							
																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年間供給小売額</th> <th>年間供給量</th> <th>年間供給率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A: ハイオガ発電(販賣部合計)</td> <td>1050万円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>B: バイオマス発電(販賣部合計)</td> <td>150万円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>C: 水力発電</td> <td>150万円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>D: バイオマス発電(直接バイオマス、コラボ)</td> <td>1,310万円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>E: 小火電</td> <td>1,100万円</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>F: 太陽光発電</td> <td>30万円</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			年間供給小売額	年間供給量	年間供給率	A: ハイオガ発電(販賣部合計)	1050万円	100%	B: バイオマス発電(販賣部合計)	150万円	100%	C: 水力発電	150万円	100%	D: バイオマス発電(直接バイオマス、コラボ)	1,310万円	100%	E: 小火電	1,100万円	100%	F: 太陽光発電	30万円	100%
年間供給小売額	年間供給量	年間供給率																					
A: ハイオガ発電(販賣部合計)	1050万円	100%																					
B: バイオマス発電(販賣部合計)	150万円	100%																					
C: 水力発電	150万円	100%																					
D: バイオマス発電(直接バイオマス、コラボ)	1,310万円	100%																					
E: 小火電	1,100万円	100%																					
F: 太陽光発電	30万円	100%																					

B 「再生可能エネルギー」



今の下川は牛のおかげで生活を支えることができているといつても過言ではない。

(下川の牛の数4800頭)

しかし、夏は暑く、冬も極寒の朝がほとんど無くなつた明らかな気候変動で、牧草の収穫が難しくなつておらず、牛を飼うのも難しくなつてきている。

電気を消すなど、できることでCO₂排出を減らすことが大事。

C 「ものづくり・ファッション・交通」



伊藤さんのお話

きれなくなった服、擦り切れた帯などを使ってエコバッグ、カバンを作るのが楽しいと話してくださいました。ごみの量も減るために一石二鳥の活動だと感じた。

D 「食・ゴミ」



Dグループ 「食・ゴミ」

施設見学を通して分かったこと①

ご飯→中3の1クラス分余った

汁物→約10キロ

野菜→3キロ

牛乳→24個

肉団子→約50個

→それぞれ1クラス分くらいの残食があった

町長、議長、教育長からのコメント



図や表、写真の見せ方、起承転結がわかりやすかった。方策もしつかり示されていてすばらしかった。自分の学校や地域のために今後も学び続けてほしい。(谷町長)

議場での発表、とても嬉しい。コロナ禍であってもいろいろな人と関わり行動していたところが素晴らしい。(近藤議長)

皆さんのなかで家のゴミをステーションに持っていく人はどれくらいいますか？今日の発表の内容を、自分の身近なこととして、ぜひ取り組みづけてください。(川島教育長)